

留学先の台湾で支援の輪を広げ、友情の絆を深める。

静宜大学に留学中の小林良平くんに台湾社会が注目！



東日本大震災へ海外から最大の義援金を送ってくれた台湾。その台湾の静宜大学に留学している、外国語学部4年生の小林良平くん（英米語コミュニケーション学科）の大震災支援の活動が、台湾のメディアを中心に大きく取り上げられている。

小林くんは元々、英語専攻の学生であるが、英語で授業が受けられて、しかも現地語の中国語も学べるということで、ミッション系の静宜大学に留学し、語学のみならずアジアの地域事情や、政治・歴史・文化などを英語・中国語で学び、研究テーマである国際ボランティアと社会参加・広報についての学習を深めていた。そんな充実した留学生活を送る中、突如日本からもたらされた東日本震災の報に、持ち前の行動力と留学でさらに磨きのかかった英語・中国語を使って、静宜大学の留学生や現地学生たちを中心として日本を支援する活動「Love Japan 3.11」を自ら代表として立ち上げる。そして日本人留学生が中心となり、現地台湾の学生と交流し協力しあいながら、各国の学生たちが協力し合う中で深めたこの新たな「絆」は、大学の

みならず台湾の多数の新聞・テレビなどの報道で注目されることとなり、台湾社会に静かな「広がり」を見せている。

また、小林くんは日本や震災へ正確な理解と大きな関心を持ちつつ、義援金や応援メッセージなどを送ってくれる台湾の人たちの温かくて大きな心に感動し、春の長期休暇を利用して台湾中に「ありがとう」を言う感謝の旅に出かけた。台中の大学をスタートし台北、台東、高雄と台湾を一周する旅の中で、一人の日本人として1,000人を超える台湾の人たちに、「謝謝」と書かれたカードを見せたり、「ありがとう」の気持ちを書いたメッセージカードを手渡したりした。小林くん自身、この感謝の旅でのたくさ



んの人たちとの新たな触れ合いの中から、日本に関心を持ち心配を寄せる多くの人たちの気持ちに気づき、人間の優しさに触れたという。この感謝の旅も台湾で各方面から注目されることになり、小林くんが始めた一連の震災支援の活動は、留学先の静宜大学からも「優秀社会服務団体賞」（社会に大きく貢献した大学活動団体に贈られる賞）を授与された。このように大学の資金提供や伝統のない団体である一般サークル団体が受賞したこと自体、初の快挙であるとのことである。

Love Japan や台湾感謝の旅について詳しく知りたい方は、Love Japan 3.11 ホームページ <http://lovejapan311.xxxxxxxx.jp/index.html> または、本学ホームページまで。